

平成 22 年度 都立高入試 配点について

新教育研究協会

都立高入試の予想得点の算出にあたりまして、弊社が予想いたしました配点をお知らせいたします。

国語 —記述問題の配点について—

③〔問 5〕、⑤〔問 4〕

●配点…5点

●採点方法…学校によっては、表記の間違いで減点することもあります。

④〔問 5〕 200 字課題作文

●配点…10点

●採点方法

- ・作文の内容については、おそらく何人かの先生で合議し、テーマとの関連性や具体性の度合いなどに応じて、(学校によって異なるでしょうが)5段階から3段階程度にランク分けされるのではないかと思います。
- ・次に、下記のような叙述や表記上の観点で、減点されると思われます。
 - ・文末表現が統一されているか。(常体・敬体の統一)
 - ・原稿用紙の使い方が正確であるか。(書き出しや改行の際の一マス空けや句読点・括弧などのくぎり符号の使い方など)
 - ・表記が正確であるか。

これらの間違いについては、間違い一つについて、1点ずつ減点されるのではないかと思います。ただし、同種類の間違いについては、複数あっても一つとみなすのではないかと思います。

数学 —完全記述問題の配点について—

●配点…各7点

●採点方法

- ・模範例についての予想配点です。各学校によって違いはありますが、部分点があると思われます。

②〔問 2〕

〔証明〕

この立体は、底面の半径が a cm、高さが a cm の円柱であるから、
体積 V は、

$$\begin{aligned} V &= \pi a^2 \times a \\ &= \pi a^3 \dots\dots\dots (1) \text{-----} 2 \text{点} \end{aligned}$$

また、線分 AB と点 M との距離は $\frac{a}{2}$ cm であるから、
点 M が通ってできる円周の長さ l は、

$$\begin{aligned} l &= 2\pi \times \frac{a}{2} \\ &= \pi a \text{-----} 2 \text{点} \end{aligned}$$

よって、

$$\begin{aligned} a^2 l &= a^2 \times \pi a \\ &= \pi a^3 \dots\dots\dots (2) \text{-----} 3 \text{点} \end{aligned}$$

(1), (2) より、

$$V = a^2 l$$

- ・(1), (2)は順不同でもよいと思われます。
- ・(1), l の式のうち、1つが書けていれば2点、2つが書けていれば4点になると思われます。
- ・ l の式から、(2)を導けていれば3点になると思われます。

④〔問 2〕①

〔証明〕

$\triangle ABQ$ と $\triangle CPQ$ において、
四角形 $ABCD$ は長方形だから、 $AB \parallel PC$
平行線の錯角は等しいから、

$$\angle ABQ = \angle CPQ \dots\dots\dots (1) \text{-----} 2 \text{点}$$

$$\angle BAQ = \angle PCQ \dots\dots\dots (2) \text{-----} 2 \text{点}$$

(1), (2) より、2組の角がそれぞれ等しいから、----- 3点

$$\triangle ABQ \sim \triangle CPQ$$

- ・(1), (2)は順不同でもよいと思われます。
- ・(1), (2)のうち、1つが書けていれば2点、2つが書けていれば4点になると思われます。
- ・「2組の角(がそれぞれ等しい)」は、2角(相等)などでもよいと思われます。

英語 一課題英作文の配点について一

●配点…12点

●採点方法

- ・配点の内訳は、各4点×3問=12点と思われます。
- ・各学校によって違いはありますが、主に文法面を重視して採点すると思われます。
- ・「日本を訪問する Laura に対して Haruka が何をしたらよいかを助言すること」が主題なので、まず You can [should] ~. や Why don't you ~? 等を使い「助言の内容」を表現したあと、補足説明をする際には、時制面では現在形、過去形、未来形などあらゆる文が解答例として出てくるとされます。
- ・学校によっては、つづり字、読点、大文字、小文字などの表記上の誤りがあれば、各問1~3点の減点があると思われます。ただし、同じ誤りを何回も繰り返してしまったような場合は、全体で何点の減点というような配慮がなされると思われます。

社会 一記述問題の配点について一

●配点…各5点

●採点方法

- ・③〔問3〕 問題文に「Ⅰ～Ⅲの資料を活用し」とあるので、資料Ⅰ～Ⅲから『資料Ⅰの「長年の勤務で高度な技術を身に付けた熟練従業者」が示しているのは、表Ⅲの「50歳以上」の従業者であること』、『資料Ⅰの「かつて経験したことのない急速な世代交代」が示しているのは、表Ⅲの「40歳代」の従業者の割合が表Ⅱに比べて非常に低くなっており、「50歳以上」の従業者からの技術の継承がうまくいかなくなるということ』を読み取り、簡潔にまとめられていれば正答と思われます。
- ・④〔問3〕 問題文に「Ⅰ～Ⅲの資料を活用し、鉄道路線と人口の変化に着目して」とあるので、資料Ⅰと資料Ⅱから『1910年ごろから1930年ごろにかけて、多くの私鉄が開通するとともに、その私鉄の発着駅周辺に新しく百貨店がつけられたこと』、資料Ⅰ～Ⅲから『1910年ごろから1930年ごろにかけて、新しく開通した私鉄沿線の区の人口が増加していること』を読み取り、簡潔にまとめられていれば正答と思われます。
- ・⑤〔問3〕 問題文に「公害対策基本法の公布とその背景を踏まえて」「Ⅰ～Ⅲの資料を活用し」とあるので、資料Ⅰから『1967年の公害対策基本法の公布までに、多くの公害(病)が発生したこと』、資料Ⅱと資料Ⅲから『公害対策基本法で公害防止に対する地方公共団体の責任が定められたことをうけて、1968年以降、公害防止・公害対策条例を制定した地方公共団体が増えたこと』を読み取り、簡潔にまとめられていれば正答と思われます。

理科 一記述(作図)問題の配点について一

●配点…③〔問3〕理由3点、④〔問3〕5点、⑤〔問3〕グラフ3点、⑥〔問1〕5点、〔問3〕理由3点

●採点方法

- ・③〔問3〕理由 「風向が南寄りから北寄りに変化していること」、「気温が下がったこと」以上の2つのことが述べられていれば正答だと思われます。また、「風向が南寄りから北寄りに変化したから」のみでも正答だと思われます。
 - ・④〔問3〕「Bの水流とは反対の向きに泳いだこと」が述べられたうえで、「体の表面で受け取る水流の刺激を強く受けた」ということが述べられていれば正答だと思われます。「Bの水流とは反対の向きに泳いだこと」は、「結果3が結果1と同じ結果になったこと」という表現でも正答だと思われます。
 - ・⑤〔問3〕グラフ プロット(●)を4ヶ所に打って、原点を通り、グラフの右端まで直線が引かれていれば正答だと思われます。問題文にプロット(●)を用いてとあるので、プロットが打っていない、もしくは不足している場合は誤答だと思われます。
 - ・⑥〔問1〕「作用点が木片と鉄球が接する部分にあること」、「鉄球が木片を押し力と同一直線上にあること」、「左向きの矢印であること」、「矢印の長さが2目盛り分であること」以上4つのことがかかれていれば正答だと思われます。また、このうち1点でも不足していた場合は誤答だと思われます。
- 〔問3〕理由 「コイルの中の磁界が変化したため電流が流れた」、「台車が速く運動した方が流れる電流が大きくなる」以上2つのことが述べられていれば正答だと思われます。「台車が速く運動した」は「台車の速さが速い」でも正答だと思われます。